

第160期 中間報告書

(2025年3月1日から2025年8月31日まで)

株主の皆様の声をお聞かせください



当社は、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーからメール
でお送りいたします。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



松竹株式会社

証券コード9601

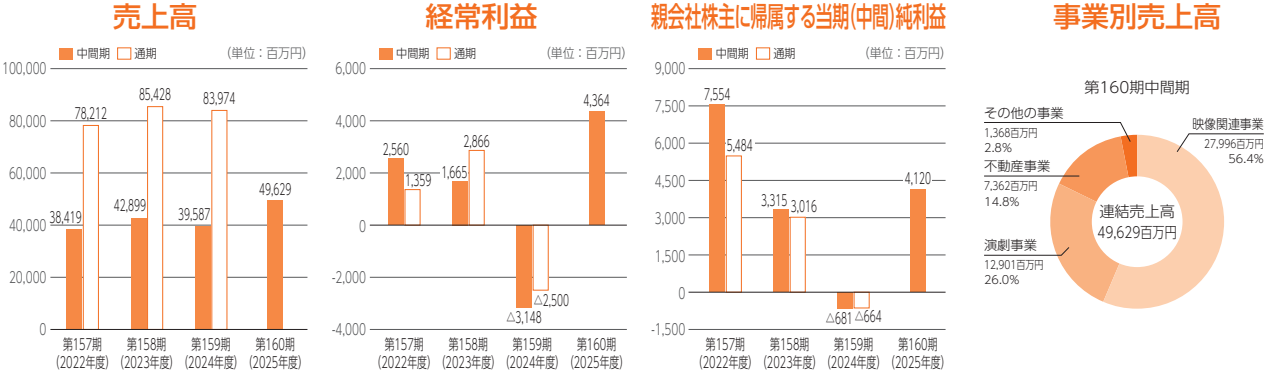


©2025映画「TOKYOタクシー」製作委員会



代表取締役社長 社長執行役員
高橋 敏弘

連結決算ハイライト



当中間連結会計期間の概況

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第160期中間連結会計期間（2025年3月1日から2025年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の通商政策や中東情勢の悪化による資源・エネルギー価格の高騰、円安等による物価高の継続など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

映画業界は、邦画・洋画ともに昨年よりヒット作が多く、年間の全国興行収入が前年を超えたと見込まれており、非常に好調な推移となりました。

演劇業界は、昨今注目を集めている「トキ消費」という言葉に象徴される「その場限りの感動体験」を求める風潮や、各個人それぞれのやり方、ペースで応援を行う「推し活」ブームの影響も受け、舞台に限らず、音楽・イベントの各分野とも大幅な伸長を続けています。また、創作・製作活動の様々な分野でAIなどの新技術の導入も進み、新たな転換点を迎えているとも言えます。

不動産業界では、都心部を中心に大規模な開発計画が引き続き進展しています。オフィス賃貸市場の賃料水準は回復傾向が継続しており、主要都市でのオフィス需要も底堅く推移いたしました。また、インバウンドの継続的な需要はホテルや商業施設の市場をさらに活性化させ、高稼働率の維持に大きく寄与しています。一方で、建設工事費の高騰や不動産運営コストの増加、業界全体での人材不足などが喫緊の課題となっています。

このような状況下、当社グループはより一層の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました結果、当中間連結会計期間は、売上高49,629百万円（前年同期比25.4%増）、営業利益4,249百万円（前年同期比494.3%増）、経常利益4,364百万円（前年同期は経常損失3,148百万円）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は4,120百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失681百万円）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残る状況を踏まえ、誠に遺憾ながら見送らせていただきたく存じます。以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

上半期の概況

映像関連事業

【配給】邦画6作品、洋画3作品、アニメ6作品、シネマ歌舞伎、METライブビューイングに加え、ODS作品、ライブビューイングなど多様な作品を公開しました。4月の「Snow Man 1st Stadium Live Snow World 映画館生中継!!」が好評を博し、5月の「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ TABOO NIGHT XXXX」、7月の「事故物件ゾク 怖い間取り」は興行収入10億円を超えるヒットとなり、それぞれライブビューイング、アニメ、邦画作品として、お客様の支持を集め、ヒット作となりました。

【興行】邦画では「名探偵コナン 隻眼の残像」、「国宝」、「劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来」が興行収入100億円を超え、洋画では「ミッション：インポッシブル／ファイナル・レコニング」などが大ヒットとなりました。なお、売店部門の強化に注力しており、8月の売店売上が単月売上として過去最高を記録し、収益に貢献しました。また、2025年3月に、JR広島駅直結の映画館、MOVIX広島駅がオープンしました。

【テレビ制作】地上波放送にて連続ドラマ「レプリカ 元妻の復讐」、BS放送にてスペシャルドラマ「弁護士 六角心平 京都殺人事件簿」、連続ドラマ「I, KILL」「社畜人ヤブー」、CS放送にて連続時代劇等を制作いたしました。番組販売では、「鬼平犯科帳シリーズ」「剣客商売シリーズ」「必殺シリーズ」の販売を行いました。

【映像版權・DVD/Blu-ray Disc販売】『魔法使いの約束』『うちの弟どもがすみません』『もめんたりー・リリィ』『366日』『劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』『ウィッチウォッチ』『一瞬で治療していたのに役立たずと追放された天才治癒師、闇ヒーラーとして楽しく生きる』『ロングレグス』『シネマ歌舞伎 刀剣乱舞 月 刀剣 縁 桐』を発売し好調に推移しました。

【配信・放映・権利販売】『劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』をAmazon Prime Videoで定額見放題サービスの全世界独占配信を実施し、国内配信のみならず海外での売上にも大きく貢献しました。また、U-NEXTにて4月に同作を、5月に「366日」を都度課金サービス先行独占配信し、売上に大きく貢献しました。BSテレ東では、「土曜は寅さん！4Kでらっくす」



『事故物件ゾク 怖い間取り』
©2025「事故物件ゾク 怖い間取り」製作委員会



『劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』
©尼子騷兵衛／劇場版忍たま乱太郎製作委員会

として「男はつらいよ」シリーズを継続して放送しています。2025年は、昭和100年にあたり、これを機会として丸の内TOEIにて旧作上映イベントに出品、また雑誌「男の隠れ家」にて松竹旧作の大特集を組むなど積極的に旧作の掘り起こしを行っています。また、「男はつらいよ」は本年もファン感謝祭を実施、さらに柴又・寅さん記念館にて「仮面ライダー響鬼」とのコラボイベントを実施するなど、新旧のファン拡大に努めています。今期より野村芳太郎監督作品の掘り起こしの取り組みにも着手しています。

【CS放送】松竹ブロードキャスティング(株)は、人気アーティストのライブ番組の編成やCATV局への新規導入営業を強化し、視聴料収入の確保に努めました。また、放送番組のYouTube同時無料公開といった新たな取り組みも積極的に進めております。これに加え、舞台作品の上映イベントなどを通じ、収益源の多角化を図りました。

演劇事業

松竹創業130周年にあたり、歌舞伎・一般演劇ともに130周年記念公演と銘打ち、話題を呼ぶ作品をラインナップに掲げました。特に歌舞伎公演においては、「三大名作一挙上演」の皮切りとなる「仮名手本忠臣蔵」や、尾上菊之助改め八代目尾上菊五郎、尾上丑之助改め六代目尾上菊之助 襲名披露公演が大反響となりました。

【歌舞伎座】3月の「仮名手本忠臣蔵」、4月の新作歌舞伎「木挽町のあだ討ち」が話題を呼びました。5月、6月は、尾上菊之助改め八代目尾上菊五郎、尾上丑之助改め六代目尾上菊之助 襲名披露公演を上演し、華やかな公演になりました。7月の「鬼平犯科帳」、8月の新作歌舞伎「火の鳥」など、各月、古典から新作まで話題に富んだ公演をお届けし、前期を上回る成績を収めました。

【新橋演舞場】3月の「浪人街」、6月の東京喜劇熱海五郎一座公演、7月の歌舞伎「刀剣乱舞 東 鑑 雪 魔縁」、8月の「舟木一夫シアターコンサート in 新橋演舞場」が好成績を収め、5月の「反乱のボヤージュ」、8月の「華岡青洲の妻」、OSK日本歌劇団「レビュー 夏のおどり」も大変好評を博しました。

【大阪松竹座】3月の「関西ジュニア原石まつり」、4月の「松竹新喜劇 陽春公演」、6月の「反乱のボヤージュ」、OSK日本歌劇団「レビュー 春のおどり」、7月の「尾上菊之助改め八代目尾上菊五郎、尾上丑之助改め六代目尾上菊之助 襲名披露七月大歌舞伎」、8月の「Boys be 8 Summer Live」等が大変好評を博しました。

【南座】4月の「浪人街」、翼和希トップスター就任記念公演 OSK日本歌劇団「レビュー in Kyoto」は高稼働率を維持し収益に貢献いたしました。8月の「刀剣乱舞 東 鑑 雪 魔縁」は歌舞伎ファンのみならず広く支持を集め、一定の成果を収めることができました。

【その他の公演】5月の日生劇場、6月の新歌舞伎座は、「ミュージカル『ビートルジュース』」を再演し、多くの来場者を集め好成績を収めました。6月の三越劇場は、石井ふく子演出「花嫁 ～娘からの花束～」が好評を博しました。8月のサンシャイン劇場「あの夏、君と出会えて～幻の甲子園で見た景色～」では、戦後80年にあって、平和へのメッセージを込めた作品として多くのご来場者様から支持を頂きました。

【巡業】4月の「第三十八回 四国こんぴら歌舞伎大芝居」では、中村萬壽、中村獅童



「華岡青洲の妻」



「第三十八回 四国こんぴら歌舞伎大芝居」

が中心の座組みで、全国から多くの来場者を迎え大盛況となりました。

【シネマ歌舞伎】シネマ歌舞伎は20周年を迎え、「月イチ歌舞伎2025」では4月に「野田版 鼠小僧」、5月に「鷺娘」を公開し、アニバーサリーイヤーにふさわしい、バラエティに富んだ計12作品を上映予定です。

【配信】「刀剣乱舞 東 鑑 雪 魔縁」は、7月新橋演舞場初日、千穉楽、8月南座大千穉楽と3度にわたり、生配信を行いました。

不動産事業

不動産賃貸では、入居テナントとの綿密なコミュニケーションにより良好な関係を継続することで高稼働率を維持し、安定収益を確保しました。また、歌舞伎座タワーや銀座松竹スクエアなどの主要物件においては、テナント入れ替えや計画的な修繕の実施などを機会とした賃料改定などにより、売上が増加しました。

中長期戦略である東銀座エリアマネジメント活動においては、周辺地区の再開発が進む中、一般社団法人東銀座エリアマネジメントと東銀座まちづくり推進協議会に賛同・入会いただく企業も増え、街の賑わい創出イベントを開催するなど、地域貢献とエリアの価値向上のための取り組みを一層強化しました。



「つきじ獅子祭」各町内会の半纏展示

その他の事業

各事業でのオンラインによる商品販売やコンテンツ配信の強化を図りつつ、人気シリーズ作品やコア層向けの商品開発・販売を主軸に展開しました。また、新規事業領域における事業展開については、コストを抑制しつつも、これまでない企画やコンテンツ開発に注力し、他業種企業との新しい取り組みや基盤づくりを進めました。

【プログラム・キャラクター商品】『劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』『劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ TABOO NIGHT XXXX』『ヤマトよ永遠に REBEL3199 第三章 群青のアステロイド』等の作品を中心に収益に貢献しました。

【イベント事業】豪華声優による朗読劇「こえかぶ 朗読で楽しむ歌舞伎～梅と松と桜～篇」では歌舞伎三大名作の一つ「菅原伝授手習鑑」をオリジナル脚本で上演し、好評を博しました。また、雅楽や神楽囃子、歌謡曲、ダンスミュージックが融合する音楽祭「ZIPANGU the Party!!」を開催し、大きな話題となりました。「『劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』体験展～忍務振り返りの段～」は世代を超えた多くのお客様のご来場があり大盛況となりました。

【ゲーム事業】ゲーム事業においては、4タイトルを販売するとともに、事業開始1周年を記念したポップアップストアの開催および公式SNSの開設が話題となりました。国内外のゲーム関連のスタートアップ企業を対象とした連携に特化したアクセラレータープログラムを松竹ベンチャーズ(株)が開始しました。



ゲーム「リターン・フロム・コア」

今後の見通し

今後のわが国の経済は、継続的な賃上げや物価上昇率の低下などにより、緩やかな回復基調が続くことが期待されますが、米国の関税をはじめとした各政策の不確実性の高まりや不安定な国際情勢の長期化など、内外経済の景気下振れリスクが存在し、当社グループを取り巻く経営環境について、引き続き状況を注視する必要があります。

当社グループは、事態の推移を考量する中で事業を展開し、あらゆる世代のお客様に喜んでいただき、心の支えとなる映像・演劇のコンテンツを提供して参ります。

【映像関連事業】

下半期はさらに多様なラインナップをそろえて動員を図ってまいります。実写作品では、11月に昭和から平成、令和と、日本に生きる人々を長年描き続けてきた山田洋次監督が、刻々と変化する大都市「東京」を舞台に人生の喜びを謳い上げる感動の物語、松竹創業130周年記念作品「TOKYOタクシー」、12月には、2023年にTBSテレビで日曜劇場として放送され一大ブームを巻き起こした福山雅治主演の連続ドラマ「ラストマンー全盲の捜査官ー」の映画化「映画ラストマン-FIRST LOVE-」、アニメでは、「機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ」のその後を描く、ファン待望の宇宙世紀シリーズ三部作の第2作目「機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ キルケーの魔女」など多様な作品の公開を予定しており、いずれの作品も興行収入最大化を目指して取り組んで参ります。

また、MOVIX堺が賃貸借契約満了に伴い、2026年2月28日をもって閉館することが決定しました。

【演劇事業】

歌舞伎座は10月以降、「錦秋十月大歌舞伎」、「吉例顔見世大歌舞伎」、「十二月大歌舞伎」を上演します。新橋演舞場は9月に「ANDOU」、10月に「星列車で行こう」、11月と12月に「爆烈忠臣蔵～桜吹雪 THUNDERSTRUCK」を上演します。大阪松竹座は9月に「秋だ！ 笑いだ！ 松竹新喜劇 九月公演」、10月に「大阪は踊る!」、11月に「じゃりん子チエ」、12月は「スイートホーム ビターホーム」を上演します。南座は10月に「市川團十郎特別公演」、12月に「當る午蔵 吉例顔見世興行 東西合同大歌舞伎」を上演します。他劇場では2026年1月に浅草公会堂で「新春浅草歌舞伎」、三越劇場で「わが歌ブリウギ-笠置シヅ子物語-」を上演します。また、2025年10月末から11月下旬まで、公文協松竹大歌舞伎巡業を全国各地で上演します。

シネマ歌舞伎は2024年11月と12月に上演された「歌舞伎NEXT 朧の森に棲む鬼」を松本幸四郎・尾上松也がWキャストで主役を務めた両バージョンにて2026年1月に公開します。さらに新作として、坂東玉三郎、市川染五郎が出演し、2024年10月に歌舞伎座で大盛況を博した「源氏物語 六条御息所の巻」を公開します。

【不動産事業】

オフィス・商業・ホテルの賃貸では、計画的な修繕を継続すると共に、引き続き綿密なテナントコミュニケーションにより、既存テナントとの良好な関係を維持して参ります。

また、より好条件の新規テナント誘致にも注力することで、賃貸収益の確保に努めて参ります。さらに既存の不動産事業の領域にこだわることなく、ものづくりの企業として文化を発信すべく、新たな取り組みにも注力し、当社拠点である東銀座のブランド価値向上と収益確保にも努めて参ります。

築地市場跡地の再開発「築地地区まちづくり事業」や周辺の再開発計画を見据えた地域の活性化と環境整備等 に貢献しつつ、市場環境の変化に迅速に対応し、収益の最大化と持続的な成長を目指して参ります。

【その他の事業】

各事業における効率的な業務運用とコスト管理の徹底により収益力の改善に努めます。また、他業種企業との取り組みを強化し競争力を高め、既存事業の深掘りにとどまらず、新たなコンテンツの開発など事業領域の拡大にスピード感を持って取り組み、次世代の収益の柱構築を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

新作映画情報

『TOKYOタクシー』

タクシー運転手と乗客——見知らぬ者同士だったふたりの、奇跡のような1日。

この秋、観る人の心にあたたかな光を灯す珠玉のヒューマンドラマをお届けします。

『男はつらいよ』シリーズをはじめ、数多くの名作を生み出してきた山田洋次監督の91本目となる最新作は、松竹創業130周年記念作品『TOKYOタクシー』。

フランスで初登場新作1位を獲得、2023年に日本でも公開し、大ヒットを記録したフランス映画『パリタクシー』を原作に、昭和から、平成、令和と、各時代を生きる人々を温かい眼差しで描いてきた山田監督が、刻々と変化する大都市・東京を舞台に、人生の終活に向かうマダムとタクシー運転手の1日の出会いを通し、人生の喜びを謳い上げます。

主演を務めるのは、長きにわたり日本映画界を牽引し、山田監督作品には欠かせない存在である名女優、倍賞千恵子。山田洋次作品70本目の出演となる本作では、ある過去を抱えながら人生の終活に向かうマダム・高野すみれを演じます。そして、すみれを乗せて送ることになるタクシー運転手・宇佐美浩二には、『武士の一分』以来19年ぶりの山田組参加となる、木村拓哉。ふたりは、アニメーション映画『ハウルの動く城』以来、実写では初の共演となります。さらに、若き日のすみれを蒼井優が演じるほか、迫田孝也、優香、中島瑠菜、イ・ジュニョン、笹野高史など多彩な豪華実力派俳優が集結いたしました。

毎日休みなく働いているタクシー運転手の宇佐美浩二（木村拓哉）。娘の入学金や車検代、家の更新料など次々にのしかかる現実に、頭を悩ませていた。そんなある日、浩二のもとに85歳のマダム・高野すみれ（倍賞千恵子）を東京・柴又から神

奈川の葉山にある高齢者施設まで送るという依頼が舞い込む。最初は互いに無愛想だったふたりだが、次第に心を許し始めたすみれは「東京の見納めに、いくつか寄ってみたいところがあるの」と浩二に寄り道を依頼する。東京のさまざまな場所を巡りながら、すみれは自らの壮絶な過去を語り始める。たった1日の旅が、やがてふたりの心を、そして人生を大きく動かしていくことになる――。



「映画ラストマン -FIRST LOVE-」
©2025映画「ラストマン」製作委員会



シネマ歌舞伎
「源氏物語 六条御息所の巻」



30年ぶりに歌舞伎座で三大名作一挙上演

松竹創業130周年を迎える2025年、節目の年を記念して、2025年3月、9月、10月、歌舞伎座にて三大名作『仮名手本忠臣蔵』、『菅原伝授手習鑑』、『義経千本桜』を一挙上演することとなりました。

三大名作とは、人形浄瑠璃のために書かれ、後に歌舞伎として上演された「義太夫狂言」と呼ばれる作品のなかでも代表的な3演目です。3月には元禄時代に起こった赤穂浪士による仇討ちを描く『仮名手本忠臣蔵』、9月には平安時代の菅原道真の失脚事件を中心に、道真の周囲の人々の生き方を描く『菅原伝授手習鑑』、10月には源義経を軸に平家滅亡後生き残った平家の人々を描く『義経千本桜』を通し上演。それぞれ上演を重ねるたびに新たな演出や工夫が加えられ、歌舞伎の様式美をたたえた、洗練された舞台が今まで伝えられている名作です。

歌舞伎座において、三大名作を一挙上演するのは松竹創業100周年にあたる1995年以来、30年ぶりとなります。明治時代の歌舞伎座の絵本役割（上演作品と出演者の配役が書かれた冊子）をオマージュし、歌舞伎の外題や看板などに用いる力強い勘亭流の文字、歌舞伎座のシンボルマークである鳳凰丸が印象的に配された特別チラシも作成し、上演発表時には、時を超えて愛される三大名作を世代を超えた豪華競演にてお届けする一挙上演への期待が高まりました。三作ともA・Bプログラムで配役を変えて昼夜通しての上演となり、3月に上演された『仮名手本忠臣蔵』では大星由良之助ら浪士たちの忠義心や、様々な艱難辛苦を乗り越えて見事本懐を遂げた浪士たちの姿に、客席から割れんばかりの感動の拍手が送られました。



当社の情報 (2025年8月31日現在)

会社の概要

商号 松竹株式会社
設立 1920年（大正9年）
資本金 33,018百万円
従業員数 612名

本社、支社および営業所
本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
電話 03-5550-1533（総務室）
関西支社（大阪）

当社ホームページ
<https://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長	迫本 淳 一
代表取締役社長 社長執行役員	高橋 敏 弘
取締役 副社長執行役員	山根 成 之
取締役 専務執行役員	秋元 一 孝
取締役 常務執行役員	井上 貴 弘
社外取締役	小巻 亜 矢
社外取締役	上村 達 男
社外取締役	丸山 聡 博
社外取締役	堀江 正 博
社外取締役	野間 自 子
常勤監査役	田島 賢 一
常勤監査役	内藤 博 行
社外監査役	立花 貞 司
社外監査役	朝比奈 豊 男
社外監査役	井ノ上 正 男

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳（株）：歌舞伎・演劇・映画・テレビ・舞踊・イベント等の衣裳、小道具の製作・賃貸
- ・（株）松竹サービスネットワーク：ビル・建物の清掃・設備管理・警備、駐車場運営、生花・植物等の販売及び植栽管理
- ・松竹ショウビズスタジオ（株）：舞台・イベント等の音響・効果プラン、音源制作、オペレート業務、劇場等の音響室設計管理業務
- ・松竹芸能（株）：タレント・俳優等の養成・マネジメント、演劇・テレビドラマ・イベント等の企画・制作
- ・松竹ブロードキャスティング（株）：有料放送の衛星劇場・ホームドラマチャンネル運営、コミュニティサイト運営、映画製作
- ・（株）松竹撮影所：映画・テレビ・CM等の企画・制作、スタジオ・セットのレンタル、プロダクション業務
- ・（株）松竹映像センター：映画・テレビ等の映像編集・音響制作、ポストプロダクション業務、映像作品のアーカイブ管理
- ・（株）松竹マルチプレックスシアターズ：映画館の企画・開発・運営、パンフレット・キャラクター商品の販売、付随する飲食店等の営業
- ・松竹音楽出版（株）：映画・テレビ等の音楽制作、著作権管理業務、音楽原盤の企画・制作・販売、イベントの企画・制作
- ・松竹ナビ（株）：宣伝・広告の企画・運営及び制作業務、イベント事業、タイアップ事業、WEB・SNS関連事業
- ・歌舞伎座舞台（株）：歌舞伎座等における大道具の製作・本番進行業務、各種舞台公演やイベントの製作・舞台運営
- ・（株）関西美術：主に演劇小道具の製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳（株）：歌舞伎・舞踊衣裳の製作・賃貸
- ・（株）松竹エンタテインメント：俳優・タレント・アーティスト等の育成・マネジメント、演劇・テレビドラマ・イベント等の企画・制作

持分法適用会社

- ・（株）サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇の興行
- ・（株）イヤホンガイド：歌舞伎座・新橋演舞場・南座ほかでのイヤホン解説放送事業
- ・（株）歌舞伎座：歌舞伎座その他の事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場（株）：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア（株）：委託放送事業、放送番組の制作及び販売、ソフトウェアの企画・開発・販売
- ・歌舞伎座サービス（株）：歌舞伎座での飲食事業、売店事業、不動産賃貸事業
- ・Aetas（株）：ゲーム全般に関する情報サイト・コミュニティ運営、ゲームに関するマーケティング
- ・BHD Media Joint Stock Company：ベトナムの映画館経営

株式の状況（2025年8月31日現在）

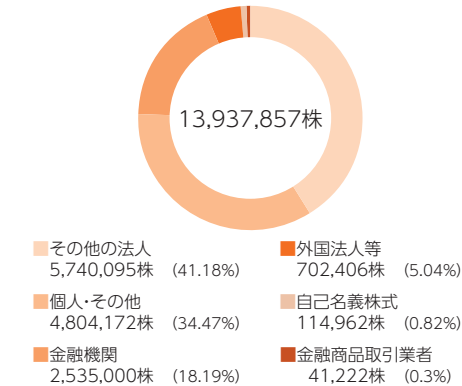
発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	13,937,857株（自己株式114,962株を含んでおります。）
株主数	18,028名（前事業年度末比10名増）

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9,725百株	7.04%
セコム株式会社	5,700百株	4.12%
株式会社歌舞伎座	4,884百株	3.53%
株式会社みずほ銀行	4,500百株	3.26%
株式会社三菱UFJ銀行	4,344百株	3.14%
清水建設株式会社	3,690百株	2.67%
株式会社大林組	3,600百株	2.60%
松竹映画劇場株式会社	3,283百株	2.38%
株式会社TBSテレビ	3,085百株	2.23%
株式会社TBSホールディングス	3,053百株	2.21%

(注) 持株比率は自己株式（114,962株）を控除して計算しております。

【所有者別株式分布表】



株主優待基準（2025年9月1日現在）

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

所有株式数	6ヶ月優待ポイント数（1ヶ月使用可能ポイント数）
100株以上	80ポイント（40ポイント）
200株以上	160ポイント（60ポイント）
300株以上	200ポイント（80ポイント）
500株以上	280ポイント（100ポイント）
800株以上	400ポイント（120ポイント）
1,000株以上	480ポイント（140ポイント）

【演劇優待 枚数基準】

所有株式数	6ヶ月優待枚数
300株以上	2枚
500株以上	4枚
800株以上	6枚
1,000株以上	8枚
1,500株以上	12枚
2,000株以上	16枚

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
株主確定基準日	定時株主総会 2月末日／期末配当 2月末日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告掲載URL	https://www.shochiku.co.jp/company/ir/ （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。）

お知らせ

●各種手続きについて

株主様の住所変更、配当金の口座振込ご指定その他各種お手続きにつきまして、証券会社に口座を開設されている株主様は、原則当該証券会社に、証券会社に口座を開設されておらず特別口座にご所有株式が記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にそれぞれお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。
お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

